

資料2

平成27年度 第一回森林環境保全基金運営委員会

平成27年度森林環境税活用事業の追加

日時:平成27年5月29日(月)14:00~16:00

場所:興林会館

高知県林業環境政策課

平成27年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初) 中間・実績

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	福田
内線	3140

13

①	事業名	・細目事業名：木の文化県構想推進事業費 ・細々目事業名：森林・山村多面的機能発揮対策推進交付金 ・当該事業名：森林保全作業安全研修委託料
	大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
	小区分	県民の主体的な活動

③	主な業務内容	伐木作業等（初級）や車両系林業機械等の操作等（中級）にかかる研修の実施
---	--------	-------------------------------------

④	現況と課題（これまでの経過や事業実施の背景）	事業開始年度	平成17年度
	ボランティア団体の中には、搬出間伐を行うところもあり、また、国の森林・山村多面的発揮対策交付金を活用する活動組織も増えている（H25：42団体→H26：59団体）。経験の浅い方が森林で作業する機会も増え、参加者の安全を確保するため、安全研修を充実させる必要がある。		

⑤	目的とねらい（成果）	森林保全ボランティア活動を行う方を対象に、伐木作業等や車両系林業機械等の操作にかかる安全衛生に関する知識や技術の向上を図ることによって、現場の事故防止につなげることを目的とする。
	対象（誰、何を対象とするのか）	県民

⑥	対象（誰、何を対象とするのか）	県民
---	-----------------	----

②	事業費の推移	H23(決算額)	H24(決算額)	H25(決算額)	H26(決算額)	H27(予算額)	
	総事業費(千円)	162	424		670	1,588	
	財源内訳	森林環境税	162	424			755
		一般財源	[※H25, H26の作業安全研修はこうち山の日県民参加支援事業でも実施]				
その他					670	833	

⑦	事業内容（手段）	伐木作業等や車両系林業機械等の操作にかかる研修を委託研修により実施 （委託先：（公財）高知県山村林業振興基金）									
	初級者研修（伐倒木の業務に係る特別講習）定員15名×3回 学科・実技2日間、現地実習2日（現地実習はいずれか1日に参加）	中級者研修（小型車両系建設機械（整地等）特別教育）定員15名×1回 学科・実技2日間									
	中級者研修（小型移動式クレーン運転技能講習）定員10名×1回 学科・実技3日間										
	多面的国費	<table border="0"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27国内示後</td> </tr> <tr> <td></td> <td>初級2回 29</td> <td>初級1回 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中級 小型車両 小型クレーン 25</td> </tr> </table>	H25	H26	H27国内示後		初級2回 29	初級1回 15			中級 小型車両 小型クレーン 25
H25	H26	H27国内示後									
	初級2回 29	初級1回 15									
		中級 小型車両 小型クレーン 25									
	基金	<table border="0"> <tr> <td>初級1回 9</td> <td>中級 小型車両 14</td> <td>中級 小型車両 14</td> <td>初級2回 30</td> </tr> </table> <p>(数字は参加者数)</p>	初級1回 9	中級 小型車両 14	中級 小型車両 14	初級2回 30					
初級1回 9	中級 小型車両 14	中級 小型車両 14	初級2回 30								

平成27年度 森林環境税活用事業評価シート②

(当初) 中間・実績

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	福田
内線	3140

13

指標の種類	指標名/算定式	H27目標値	H27中間値	H27実績値	H26実績値
⑧ I 活動指標 (アウトプット)	作業安全研修	5			2 (初級)
	算定式 初級3回、中級2回				
	算定式				
II 成果指標 (アウトカム)	作業安全研修受講者数	70			29 (初級)
	算定式 初級45人、中級25人				
	算定式				
III 効率指標 (事業コスト)	当事業に参加した県民一人当たり に要する経費(円)	22,686			23,078 (初級)
	算定式 事業費÷県民参加人数				
	算定式				

評価の項目	評価の結果	説明
⑨ I 妥当性 (実施主体・手段等 は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上 がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた 効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明(担当課記入欄)
⑩	<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
⑪	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続